

奉仕等体験学習

「進んで社会や他人のためにたくましく実践できる児童の育成」
～道徳の時間・体験学習を通して心豊かな道徳的実践力を育てる～

伊達郡保原町立大田小学校



桃花林での交流会

本校は、平成5・6年度と文部省より奉仕等体験学習研究推進校の指定を受け、研究に取り組んできました。(平成7年度は、自主研究)以下、研究実践の一端を紹介します。

一、研究を進めるにあたっての基本的な考え方

私たちは、研究を進めるにあたり次のようなことを大切にしたいと考えました。

- 目前の子どもの姿を大切にする。
- 教育活動全体構想に本研究を位置づける。
- 求める子どもの姿を実現する教師集団をめざす。

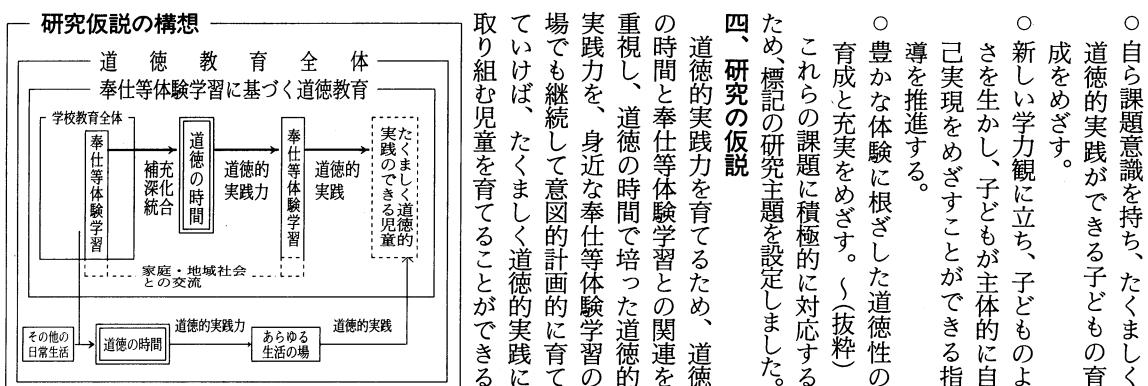
二、求める子どもの姿

私たち、奉仕の心を高めながらたくましく道徳的実践に取り組む子どもをめざし、左記のような求める子どもの姿を設定しました。

奉仕等体験学習を通して、社会や他人のために進んで行動する二との尊さを知り、さらに新たな道徳的実践へ向けて主体的に取り組むことができる児童

三、主題設定の理由

本校の教育目標の実現を図るために、日常の子どもたちの実態や教育の動向を考察してみると、次のように課題があげられます。



四、研究の仮説

道徳的実践力を育てるため、道徳の時間と奉仕等体験学習との関連を重視し、道徳の時間で培つた道徳的実践力を、身近な奉仕等体験学習の場でも継続して意図的計画的に育てていけば、たくましく道徳的実践に取り組む児童を育てることができる

